

挑戦し、

探究し、

高く羽ばたく 宇部高専



宇部工業高等専門学校
創立50周年記念事業
募金趣意書



平成23年9月

宇部工業高等専門学校
創立50周年記念事業実行委員会



ご 挨拶

宇部工業高等専門学校 校長
宇部工業高等専門学校創立50周年記念事業
実行委員会委員長

福 政 修



私ども宇部工業高等専門学校は、日本の工業発展を支える実践的技術者の育成を目的として、昭和37年（1962）4月、宇部工業短期大学を母体に有する高等教育機関として産声をあげました。「高専では生徒でなく、学生である」という言葉に象徴されるように、高専教育の基盤が「人間形成」を第一義とするものです。これは我が国の教育史上画期的なことです。本校も学習・教育目標に「人間性豊かな技術者の育成」を高らかに謳い上げています。

機械工学科80名、電気工学科40名で始まった本校の歴史も、平成24年（2012）に創立50周年という大きな節目を迎えます。まことに慶賀すべき時の流れです。昭和41年には工業化学科（平成3年、物質工学科に改組）が、昭和63年には制御情報工学科が、平成4年には経営情報学科が新設され、現在、本科は5学科体制の運営で、各方面の幅広い分野で活躍できる学生の教育にあたっています。また、平成9年には生産システム工学専攻と物質工学専攻、そして平成17年には経営情報工学専攻の三つの専攻科も設置され、本科、専攻科生合わせて学生1,100名、教職員140名の大きな規模に育ちました。なお、平成16年には法人に移行し、独立行政法人国立高等専門学校機構 宇部工業高等専門学校となっています。

学生達の自主的な活動として、卓球・ソフトテニス・ハンドボール・サッカー・ラグビー等が全国高専大会での優勝を経験しました。ロボコンでは全国高専大会で特別賞、技術賞、アイデア賞・デザイン賞等を受賞、プロコンでは優勝や文部科学大臣賞の受賞、英語弁論大会での優勝は7回を数えています。英語プレゼンテーション・コンテストでは初出場で3位入賞、近年では弓道部が全国高専大会において個人、団体4部門中3部門の優勝、等々輝かしい歴史を重ねて来ました。

創立以来、この間の卒業生は本科生6,600名、専攻科生290名を超え、宇部工業短期大学卒業生400余名の築かれた礎の下、産業界、実業界で大きな役割を果たし高い評価を得ると共に、海外でも活躍をしています。しかしながら、技術の高度化、産業構造の変化に伴い、近年の高専を取り巻く環境は大きく変化し、高専の役割も「中堅技術者の育成」から「実践的・創造的な中核技術者の育成」へと進化しております。

本校においては、卒業生の創り上げて来た良き伝統を基礎として、国際的に活躍できる「創造力と実践力を持つ人間性豊かな中核的技術者の育成」と地域のニーズや動向を踏まえた「地域に役立つ宇部高専」を第二期中期目標として掲げ、教職員一丸となって実現に向けて邁進したいと考えております。また、国際交流の面ではアジア・南米・アフリカの各国から、この10年間だけでも20名余りの留学生を迎えるとともに、平成15年からは豪州のニューキャッスル大学、韓国の東義科学大学、中国のハルビン工業大学威海、ロシアのコムソモリスク工科大学およびアムール人文教育大学の五つの大学と学術交流を実施して学生の国際経験、感覚を養っています。

創立50周年という大きな節目を迎えるにあたり、本校のこれまでの輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、

次の50年に向けて大きく飛躍することを願って、「創立50周年記念事業実行委員会」を組織しました。

そして、新たなシンボルマークを制定するとともに、下記のような記念事業を企画し、その遂行のために募金活動を実施することに致しました。

- (1) 国際交流活動およびキャリア教育の推進
- (2) 卒業生とのネットワーク構築
- (3) 創立50周年記念誌の刊行および宇部高専歴史資料室の設置
- (4) 創立50周年記念式典および記念講演会の開催

皆様におかれましては厳しい経済事情の中、多大なご負担をおかけ致しますが、本主旨をご理解頂き、格別のご協力、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

平成23年 9 月吉日



創立50周年記念事業の概要

国際交流活動およびキャリア教育の推進

本校では、技術の高度化、産業構造の変化およびグローバル化を意識しつつ、創造力と実践力を持つ人間性豊かな中核的技術者の育成を目指しております。特に平成19年度から始まった3年間の現代GPプログラム「東北アジア地区交流による実践的技術者の育成」により、中国、韓国、ロシアの4大学と学術交流協定を結び、教職員・学生の交流を積極的に進めてまいりました。

第二期中期目標として掲げた「国際社会で活躍できる人材の育成」と「地域に役立つ宇部高専」を実現し、社会が求める人材を輩出すべく、平成23年度に国際交流室とキャリア支援室を立ち上げました。これらの活動の重要性を鑑み、さらに充実させるために、活動資金の充実を図りたいと考えております。

卒業生とのネットワーク構築

これまでに本科卒業生は6,646名、専攻科修了生は293名を数え（平成23年度3月現在）、日本国内はもとより、海外においても所属企業の中核として広く活躍しています。この豊かな人的資源を積極的に活用することで、学生教育のさらなる個性化、高度化を推進すると同時に、「地域に役立つ宇部高専」として卒業生と地域産業／社会の架け橋を目指し、平成23年度から宇部高専／Uターン求人求職支援システム（地域企業・Uターン希望者マッチングシステム）の構築に着手致しました。

今後とも引き続き、卒業生の皆様と本校とのネットワークの拡大を図り、教育・研究・就職等に関して、卒業生／本校相互の自由で活発な情報交換の場となるよう努めてまいります。

創立50周年記念誌の刊行および宇部高専歴史資料室の設置

本校は平成24年に創立50周年を迎え、半世紀の歴史を刻むこととなります。記念事業の一環として、記念誌の刊行を予定しております。それと同時に資料室を設置して、これからの50年に向けて、貴重資料の収集と展示を計画し、宇部高専の広報に活用する予定です。

創立50周年記念式典および記念講演会の開催

平成24年10月10日(水)に、創立50周年記念式典および記念講演会を予定しております。ご来賓、同窓生および関係者の方々のご列席をいただき、在校生・教職員とともに、創立50周年をお祝いしたいと考えております。

宇部高専創立50周年記念募金発起人

宇部工業高等専門学校教職員

福政 修（校長・実行委員長）

吉田 政司（教授）

藤田 和孝（教授）

富永 彰（教授）

岡 正人（教授）

藤田 活秀（教授）

橋本 基（教授）

岡村 好庸（教授）

田中 章雄（教授）

西田 克美（教授）

山根 健治（教授）

杉本 信行（教授）

落合 積（教授）

三宅 常時（教授）

福地 賢治（教授）

品川恵美子（教授）

小倉 薫（教授）

竹内 正美（教授）

西野 順也（教授）

山崎 博人（教授）

伊藤 孝夫（教授）

武藤 義彦（教授）

内田 保雄（教授）

薄井 信治（教授）

高橋 正和（教授）

岩元 修一（教授）

山下 祐志（教授）

宮城 光廣（教授）

金田 昭久（教授）

中村 貢治（教授）

村田 正一（事務部長）

岡崎 幸治（総務課長）

國安 弘志（総務課長補佐）

末武 光裕（総務課長補佐） 和田 和敬（学生課長）

頼田 悦朗（学生課長補佐） 三吉 克己（技術長）

宇部工業高等専門学校名誉教授

三分一政男（元校長）

幡中 憲治（前校長）

諸井 耕二（H2）

斉藤 稀（H7）

藤井 浩二（H8）

岡本 巖（H9）

北村 壽之（H9）

中里見正夫（H10）

川上 靖（H11）

河崎 寛（H11）

中山 克彦（H14）

岩本 徳郎（H14）

松井 稜治（H15）

山本 博信（H15）

大久保明伸（H18）

重永 和男（H18）

田戸 保（H18）

深川 勝之（H18）

清水 英男（H19）

山岡 邦雄（H19）

村上 定瞭（H20）

宇部工業高等専門学校後援会

吉岡 宏（会長）

勝田 祐司（副会長）

宇部常盤会（宇部工業高等専門学校同窓会）

品川 博（会長）

小玉 明典（副会長）

福地 賢治（副会長）

募 金 要 項

1. 募金期間

平成23年9月～平成26年3月

(必要に応じて延長する場合があります。)

2. 募金種別

個人寄附 1口 5,000円 法人寄附 1口 10,000円

2口以上のご寄附を賜りました方に、記念誌を贈呈いたします。

3. 募金の範囲

- ・宇部常盤会（宇部工業高等専門学校同窓会）及び会員
- ・宇部工業高等専門学校教職員及び元教職員（退職者を含む）
- ・宇部工業高等専門学校後援会及び会員
- ・篤志家及び法人等（企業・団体等）

4. 募金の方法

【郵便振替の場合】

同封の払込取扱票により、郵便局からお振り込みください。なお、手数料は不要です。

【銀行振込の場合】

下記口座にお振込いただいた後、事務処理上必要ですのでお手数ですが同封の寄附金連絡票に必要事項を記入のうえ、FAX、電子メール又は郵送で送付願います。

なお、振込み手数料は本校で負担いたします。

山口銀行上宇部支店 普通口座 5015275 〔口座名義〕宇部工業高等専門学校創立50周年事業

西京銀行宇部支店 普通口座 2077534 〔口座名義〕宇部工業高等専門学校創立50周年事業

5. 寄附行為に対する税制上の優遇措置

所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金（所得税法第78条第2項第2号）及び法人税法上の全額損金算入が認められる寄附金（法人税法第37条第3項第2号）として財務大臣から指定されていますので（昭和40年大蔵省告示第154号（最終改正：平成16年3月31日財務省告示第178号））、税法上の優遇措置を受けることができます。

具体的には、次のような税制上の優遇措置が講じられます。

【寄附者が個人の場合】

- ・所得税

2,000円を超える部分については当該年度所得の40%を限度に当該年度からの控除が受けられます。（確定申告が必要です。）

- ・住民税

都道府県民税及び市区町村民税につきましては各都道府県、市町村の条例で本校が寄附金税額控除の対象とされている場合は、住民税の控除が受けられます。

【寄附者が法人の場合】

寄附金の全額を損金に算入することができます。

【寄附金控除を受けるための手続き等について】

所得税の確定申告時期に、払込取扱票に附属している「振替払込請求書兼受領書」や「払込金（兼手数料）受取書」又は本校が発行した「領収書」を添えて所轄の税務署に「確定申告書」を提出して下さい。

所得税の確定申告をせず、住民税の寄附金税額控除のみ受ける場合は「道府県民税・市町村民税寄附金税額控除申告書」に「振替払込請求書兼受領書」又は「領収書」を添えて住居地の市町村に提出して下さい。

6. 寄附者の顕彰

ご寄附をいただいた方は、記念銘板にご芳名、法人名を記載し、校内に末永く顕彰させていただきます。

7. 寄附金に関するお問い合わせ先

〒755-8555 山口県宇部市常盤台2丁目14-1

宇部工業高等専門学校総務課総務係

TEL：0836-35-5004 FAX：0836-21-7117

Mail：skacho@ube-k.ac.jp

※本件に関するお問い合わせにつきましては、上記宛にお願いします。



創立50周年記念事業に関するお問い合わせ先
独立行政法人国立高等専門学校機構

宇部工業高等専門学校 総務課

〒755-8555 山口県宇部市常盤台2丁目14-1

TEL : 0836-35-5004 FAX : 0836-21-7117

Mail : skacho@ube-k.ac.jp

宇部工業高等専門学校ロゴマーク

